

# 孤独のアニメ

イオリ・マエステラ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

※みんな親密度20ぐらいの設定でアニメ好きな先生を淡々と描きます。

# 目次

孤独のアニメ

---

1



# 孤独のアニメ

みき

「せんせー！駅前にはパフエのお店が出来たんですけど、放課後行きませんかー！」

先生

「あ、ごめん今日はちよつと都合が悪くて…」

みき

「そうでしたか…また誘いますね〜」

先生

「ああ、悪いね」

みき

「遥香ちゃん、先生今日もダメだってさ」

遥香

「そう…残念だけど仕方ないわね」

八雲

「あら、あなた達」

みき

「八雲先生！」

八雲

「先生をお誘いしていた様に見えたけど？」

遥香

「はい、何度か誘ってるんですけど、都合が悪いみたいで、一度も…」

御剣

「はっは！やめとけやめとけ！」

みき

「御剣先生!?!」

御剣

「あいつは付き合いが悪いんだ。『飲みに行こうぜ！』って誘っても楽しいんだか楽しくないんだか…仕事は真面目で卒なくこなすが、今一つ情熱のない男さ」

遥香

「そ、そうなんですか…(すごい説明口調)」

く 帰り道く

先生

「(さて、仕事が終わった事だし行きつけのツタヤにアニメでも借りに行くか)」

先生

「今日は何を借りよう……こないだはハルヒを借りたし、らき☆すたでも見てみようかな」

通りすがりの高校生A

「ああ、心がびよんびよんするんじやあ〜」

通りすがりの高校生B

「ああ、心がびよんびよんするんじやあ〜」

通りすがりの高校生A・B

『ああ、心がびよんびよんするんじやあ〜』

先生

「……………」



先生

「ごちうさ…か」

くツタヤく

先生

「(さっきの高校生たち、やたらごちうさを推してたようだけど、さぞ面白いんだろうな)」

先生

「ごちうさは確か…ご、ご、ご…あ、この辺か」 スツ

ピトツ

先生

「ん？」

昴

「えっ？」

昴

「せせ、せ、先生っ!?! 何でこんなところにいく!?!」

先生

「君は確か…（若葉昴…だったかな）」

先生

「昴（？）もごちうさを借りに？」

昴

「え、あ、ええと…はい…／／／」

先生

「そうかい（困ったなあー巻は1本しかないよ、さっきの高校生の言葉のせいで、見た

くてしようがないってのに」

昴

「あ、あのお……」

先生

「ん？」

昴

「よければウチで……その……い、一緒に見ませんかっ!!!  
／／／

先生

「……………えっ？」

く昴の家く

昴

「た、ただいま〜」

昴の弟以下アキラ

「あ、姉ちゃん！おかえりー！」

先生

「お邪魔します」

アキラ

「!?ね、姉ちゃんが彼氏を連れてきた…」

昴

「ち、ちがつ!?彼氏だなんて…そんな、そんなこと…：／／／ポツ

アキラ

「お父さんとお母さんに後で教えてあげよー♪」スタタタツ

昴

「あ、こら！アキラ!!先生、なんかその…すみません／＼」

先生

「いや、いいんだお気にせず（ごちうさ早く見たいし）」

く昴の部屋く

昴

「そ、それじゃあ再生しますね／＼（う、うわあく先生が私の部屋に…私の隣につつ

／＼／＼）」ドキドキ

先生

「ああ、頼むよ（ついにごちうさを見られるぞお）」ドキドキ

第1羽「ひと目で、尋常ではないもふもふだと見抜いたよ」

ココア・昴

『可愛い街！ここなら楽しく暮らせそう！』

先生

「ふあっ!？」

ココア・昴

『喫茶店？ラビット……ハウス？』

ココア・昴

『入ってみよう!』

先生

「す、昴？昴さん？」

昴

「ハッ!?すす、す、すみませんでしたあああああつ／＼／＼」

先生

「もしかして…何回か見たことある感じなのかな？」

昴

「つつつ!!……………はい、かれこれ20回目になりますっ」

先生

「」

昴

「あ、ごめんなさい一時停止したままでしたね／＼／＼ピッ

先生

「あ、ああ…続き見ようか（一体何がそこまで惹きつけるのか…この先に答えが…!）」

（30分後）





く焼肉屋く

先生

「はふ、はふっ！」モグモグ ゴクン

先生

「プハア〜！いやあ、久しぶりにアニメでいい汗かいたな…なんだかんだで、昴とも少し仲良くなれた気がするし、うん」

先生

「そして締めめの焼肉…これこれ♪」

モグモグ ムシヤムシヤ

先生

「……………続き借りたら、また昴と見ようかな」

く昴の家く

昴

「ヴェアアアアアアアア!! 先生に全部見られたっ!! 知られたっ!! 恥ずかしくて死ぬうううううううう!!!」

昴の母

「え、ちよつと…昴あんた一体何があつたの…」

アキラ

「なんか、彼氏が帰ってからずっとあんな感じなんだよね。」

昴の父

「」

アキラ



く数ヶ月後く

先生

「(アレから数ヶ月、結局最後まで昴と見てしまったなあ。次は劇場版か…) それまでなんのアニメを見ようかな」

通りすがりの高校生 A

「にっこにっこにー♪」

通りすがりの高校生 B

「にっこにっこにー♪」

通りすがりの高校生 A・B

『あなたのハートににっこにっこにー♪』

先生

「……………」

先生

「ラブライブ…か」

くツタヤく

先生

「(さっきの高校生たち、やたら矢澤にこを推してたな。名前は知ってるけど見たことないし、見てみるかな)」

先生

「ラブライブは確か…ら、ら、ら…あ、この辺か」 スツ

ピトツ

先生

「ん？」

蓮華

「あらっ？」

くおしまい  
く